

新居浜市の基礎データ

- ・平成15年4月に宇摩郡別子山村を編入合併
- ・人口 11万9,903人(平成27年10月現在)
- ・面積 234.46平方キロメートル

協議会の構成員

愛媛県 新居浜市 新居地区旅客自動車協同組合 愛媛県ハイヤー・タクシー協会
瀬戸内運輸(株) 愛媛県バス協会 四国旅客鉄道(株) 新居浜警察署
新居浜市連合自治会 新居浜市老人クラブ連合会 新居浜市女性連合協議会
新居浜市社会福祉協議会 新居浜商工会議所 新居浜市医師会
瀬戸内運輸労働組合 四国運輸局 四国地方整備局松山河川国道事務所

新居浜市における主な公共交通概要

新居浜市内のバス路線は、他市からの乗り入れ路線と市内のみの路線があり、新居浜駅と住友別子病院を結節点として、路線網が形成されている。したがって、新居浜駅から、公共施設や病院・商業施設が集積している中心市街地内のバス路線は便数も多く、比較的利便性が高いが、周辺部から中心市街地に移動する場合、結節点である新居浜駅までのバス路線は便利とは言えない状況となっている。さらに、バス交通を利用できない地域は人口ベースで約4割と高い割合となっており、市内の移動は自動車交通に依存している。また、高齢化の進展により、今後、自動車利用のできない若しくはしない人が増加し、その人たちの移動手段の確保が重要な課題となってくることが明らかであることから、既存バスルートの見直しや、周辺部のバス交通空白地域から新居浜駅までをつなぐ新たな公共交通(デマンド型乗り合いタクシー)を導入し、高齢社会に対応し、高齢者などの交通弱者のための市内公共交通体系の確保に努めている。デマンド型乗り合いタクシーについては、平成23年1月から試験運行を実施し、平成26年10月からは本格運行に移行しており、現在も、改良・改善を加えながら運行を実施している。

○バス

(幹線)

- ・新居浜駅を起点として、市内の主要な施設を經由する民間事業路線(フィーダー)
- ・バス交通空白地域から新居浜駅等まで結ぶデマンド型乗り合いタクシー

(その他)

- ・別子山地域から中心市街地までを結ぶコミュニティバス

新居浜市の公共交通ネットワーク図



凡例

- 都市・副都市拠点
- 交通・交流拠点
- 公共交通(バス)空白地域
- 既存バス路線
- フェリー
- コミュニティバス等路線バスを補完する公共交通

具体的な課題・問題点、事業の目的・必要性

【具体的な課題・問題点】

- ・市内各所を結ぶバス路線があるものの、バス交通が利用できない地域は人口ベースで約4割と高い割合になっており、また高齢者人口の割合は全国平均と比べても高く、今後自動車の利用ができない、若しくはほしくない人の増加が予想され、交通弱者の移動手段の確保が課題となっている。
- ・近年の人口減少やモータリゼーションの進展により、路線バスの利用者が減少傾向となっている。
- ・路線バスの運行区間で運行本数が多いものの、団子運行になりやすいため、実際の運行本数に見合った効果的なサービスの提供となっていない。
- ・デマンド型乗り合いタクシーは、バス交通空白地域において、路線バスや一般のタクシーを補完するものとしての位置付けであるが、比較的自由度が大きいことから利用者は急増しており、すみ分けが上手くできていないのではないかと。また、利用者が増加しているにも関わらず補助額が増えている。

【事業の目的・必要性】

- ・まちづくりと連携し、将来にわたって持続可能な公共交通体系の再構築を目指すため、地域内の公共交通に関する現況調査に加え、質的な充実配慮するための地域住民のニーズを把握し、事業者や市民と連携しながら取り組みを進めていく必要がある。

調査事業の概要

- ・地域内の公共交通に関する現況把握
- ・地域住民のニーズ把握(住民アンケート)
- ・利用実態調査(路線バス・デマンドタクシー利用者アンケート)
- ・各調査分析、問題点や課題の抽出・整理
- ・新居浜市地域公共交通網形成計画の取りまとめ

協議会における検討状況

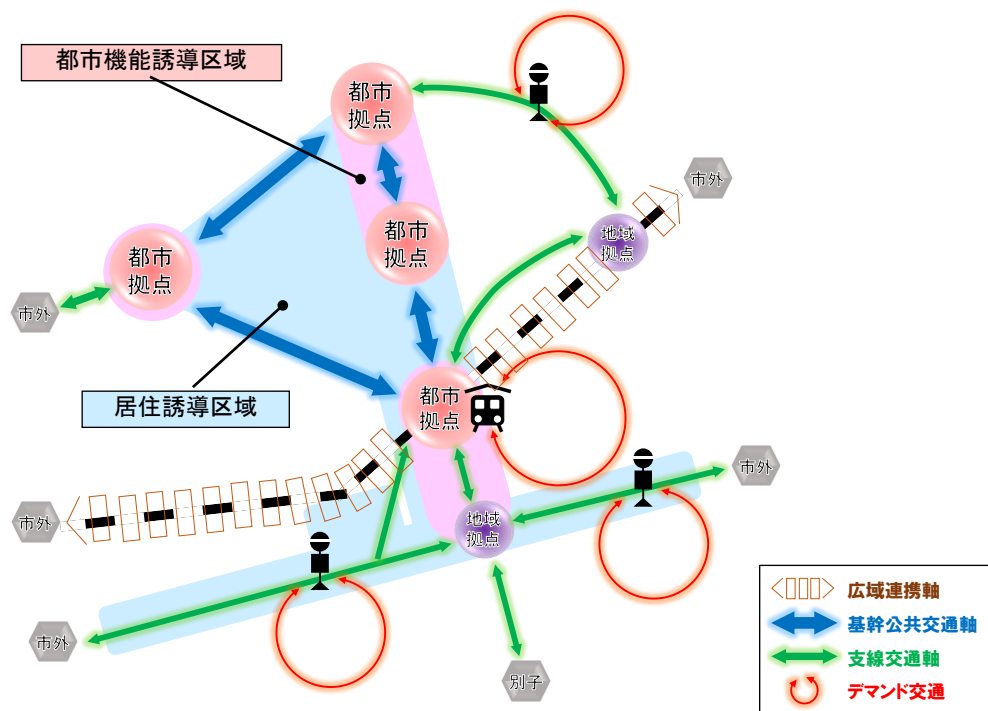
【協議会開催状況(全5回開催予定)】

	開催日	議題
第1回	平成29年6月27日	・地域公共交通網形成計画とは ・新居浜市の公共交通に関する動向について ・アンケート調査について
第2回	平成29年9月29日	・新居浜市の公共交通に関する現状、問題と課題の把握(アンケート結果等) ・課題への対応について
第3回	平成29年12月1日	・目指すべき公共交通のあり方、目標について ・再編案の検討
第4回	平成30年1月19日	・利用促進策の検討 ・地域公共交通網形成計画素案について ・パブリックコメント実施方針について

事業の状況

将来のまちづくりと一体となった、使いやすい持続可能な公共交通網を形成するため、都市機能誘導区域(案)内の都市拠点を結ぶ「基幹公共交通軸」、郊外部と拠点とを結ぶ「支線軸」を設定し、基幹公共交通軸や支線軸までアクセスする「デマンド交通」を合わせた3つによるネットワークの形成を目指す。

公共交通のネットワーク



基幹公共交通軸

JR新居浜駅を中心に南北を貫き、都市機能誘導区域内の都市拠点を結ぶ軸を基幹公共交通軸として位置付ける。
拠点へのアクセス性や拠点間の周遊性を確保するための高いサービスを目指します。

支線軸

市の郊外部とJR新居浜駅等の拠点を結ぶ軸を支線軸と位置付ける。
基幹公共交通軸までアクセスできるようにし拠点へのアクセスを確保するようにします。

デマンド交通

公共交通空白地域では、デマンド型交通によって、基幹公共交通軸や支線軸までアクセスできるようにし、拠点へのアクセスを確保するようにします。

自己評価

事業実施の適切性

新居浜市地域公共交通活性化協議会において協議し、必要に応じて適宜各交通事業者とのヒアリング等を行い、スケジュールに沿って適切に事業を実施できている。

調査結果を受けた計画策定の方針、今後への反映

【基本理念】 いつまでも暮らしやすいまちを支える、使いやすい持続可能な公共交通網の形成

まちづくりと一体となって、継続的に便利で誰もが利用しやすい移動手段を確保するため、全市における総合的かつ効率的な公共交通体系の再構築を目指す。

基本方針1：コンパクトなまちづくりを誘導する公共交通網の形成

⇒ 効率よく都市拠点へアクセスするバス路線網の再編、デマンドタクシーの見直し など

基本方針2：生活の様々な場面で公共交通の利用を増加

⇒ 快適なバス待ち環境の整備、一目で行き先がわかるバスナンバーの導入 など

基本方針3：市民・交通事業者・行政の協働による公共交通の維持

⇒ 健康促進に着目した公共交通転換の実施、交通環境学習の実施 など

今後のスケジュール

【今後の協議会開催予定等】

(平成30年2月9日～平成30年2月28日予定) ・パブリックコメント実施期間

(平成30年3月) ・地域公共交通網形成計画案(パブリックコメント反映案)とりまとめ・策定